

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域福祉課長 半場 祐子	電話番号	0852-22-5349
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	民生委員活動推進事業		
目的	(1) 対象	相談支援を必要とする地域住民（県民）	
	(2) 意図	民生委員・児童委員に生活上困っていることを何でも相談でき、支援が受けられるようにする。	
事業概要	民生委員・児童委員の活動を支え、そのレベルアップを図るため、活動費の支給及び研修機会の提供等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 民生委員・児童委員の活動（相談支援）件数	目標値		306,000.0	312,000.0	318,000.0	325,000.0	件
		取組目標値		325,000.0	325,000.0	325,000.0	325,000.0	
	式・定義 民生委員・児童委員の活動（相談支援）件数	実績値	320,943.0					
		達成率	-					%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	155,748	159,586
うち一般財源 (千円)	152,738	156,431

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

民生委員の活動件数は、年度によって増減があるものの、10年前からほぼ横ばいであるが、訪問回数は1.2倍に、活動日数は1.1倍に増えており、住民のニーズが複雑多様化し、個々に関わる時間が多くなっていると考えられる。  
各市町村民生児童委員協議会及び島根県民生児童委員協議会に対して、活動の充実・強化を図るための補助金（法定単位民生児童委員協議会活動費補助金・民生児童委員活動充実強化育成事業費）を交付し、各民生児童委員が連携しながら一体的な活動を行っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

民生委員は、本来業務以外の活動を求められることがあるが、県・市町村・島根県民生児童委員協議会及び市町村民生児童委員協議会が連携し、少しずつ活動内容が整理されてきている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
民生委員活動の負担軽減に取り組んでいるが、民生委員活動の難しさや負担感は依然として続いている。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
地域住民からの相談をはじめ、福祉課題の複雑化や災害援護など民生委員に求められるものが多岐にわたっている。また、住民の秘密保持意識の高まりから住民の状況把握の困難さがある。
- ③原因を解消するための「課題」  
民生委員活動の負担軽減及び、必要な援助のための知識の習得。  
また、そのための財源措置の拡充。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

市町村、島根県民生児童委員協議会及び市町村民生児童委員協議会と連携し、民生委員の負担軽減に向け、研修の充実や民生委員活動への理解促進に取り組んでいく。財源面で、国に対し必要な要望を行っていく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。